

●発行/しながわ未来●発行日/2025年1月10日●発行責任者/大倉たかひろ●〒140-8715品川区広町2-1-36 TEL03-5742-7810 FAX03-5728-9736

2023年5月より品川区議会内において合同会派となる、「しながわ未来」(無所属・立憲・ネット)を結成しました。所属議員は(幹事長)大倉たかひろ、(副幹事長)松永よしひろ、(政調会長)山本やすゆき、木村健悟、ひがしゆき、吉田ゆみこの6名です。



## 第3回定例会

# 決算特別委員会質疑より

決算特別委員会は10月2日から21日にかけて開かれ、2023年度の決算の審議を行い、全ての決算を認定しました。

2023年度の決算の概略は、歳入総額は1,942億円、歳出総額は1,942億円となり、昨年度より歳入約46億円、歳出約48億円の増となりました。翌年度に繰り越すべき財源の4億円を除くと、実質収支は58億円と黒字決算となりました。

黒字決算は評価しますが、決算時の歳入が予算額を毎年大きく上回っています。過剰な健全財政をめざすあまり、歳入を少なく見積もり、福祉などサービスを必要とする方たちへの予算付けを少なく見込んでいるのではと懸念します。決算審議を活かして、適正な予算配分となるよう政策提案をしていきます。

### 見守りおむつ定期便の評価

おむつやミルクの宅配をきっかけに、子育ての悩み相談につながる本事業は、支援員は事前に研修を受ける、5分程度の面談は乳児対面が必須、予約枠の改善など確認しました。課題も見られますが、先

の见えない育児不安を抱える人や助けを声に出せない人へ、声掛けや支援が直接届く施策になるよう見守っていきます。

### ヤングケアラー支援施策の拡充を

ヤングケアラーへの支援策が、家事援助、配食サービスなど具体的な施策に進んできたことを評価します。ケースワーカーやコーディネーターが訪問して、支援計画を作

成し支援がスタートしますが、子どもの権利を保障する視点を持つことを再度要望しました。ヤングケアラーの実態調査は聞き取りが「4年生以上」でしたが、実際にはそれ以下の学齢でも「ケアラー」と認定されるべき児童は存在しています。低年齢の児童への実態把握もおこなったうえで、支援の対象とする施策を求めました。

### 区民意見と監査意見が合致

2024年度後期一般監査の結果の中に、シルバー人材センターでは、職員の賞与に係る会計処理、契約事務、受託業務の履行、現金等の管理について指摘する監査報告がありました。どういう事情かと不審に思っていたところ、区民の方からもシルバー人材センターの運営、それも金銭のやり取りについて「不適切な点がある」という相談を受けました。

区民の意見と監査意見が合致しており、放置はできないと考えて実態を問いました。区は「センターに適切な対応を求めていく」と答弁、注目していきます。



▲家族のこと、子育てのことなどを相談する先のひとつ「品川区子ども家庭支援センター」。ヤングケアラーについてもぜひここに相談してもらいたい。二葉一丁目、区役所からほど近い場所にある。